



月信

11月は
ロータリー財団月間

ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2550
<http://www.rid2550.com/>

NOVEMBER
2011-2012

VOL. 05

こころの中を見つめよう、
博愛を広げるために

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

正式名は『国際ロータリーのロータリー財団』 第2550地区ガバナー 比企 達男



地区大会で講演していただいたC・W・ニコルさんとともに

実りの秋となり、各クラブの活動においても、豊かな実りをお楽しみのことと拝察いたします。

さて、11月は『ロータリー財団月間』です。ロータリー財団は『何かよいことをしよう』とのアーチ・C・クランプの『小さなひらめき』が第一歩であったことを

思い出さなければなりません。1917年のことです。1928年のミネアポリスでの国際会議で、名称は『ロータリー財団』となり、今日大きく開花しますが、アーチ・クランプという方は、どのような人物であったかご紹介いたします。

彼は1869年、ペンシルベニア州の小さな村で生まれ、苦学しながら糊口を凌ぐため、材木会社で使い走りなどしていましたが、やがて彼の並外れた才能が認められ、その会社の支配人に抜擢され、後にその会社のオーナーとなり、さまざまな事業を展開しています。一方彼はプロのフルート奏者でもあり、米国のメジャーオーケストラの一つのクリーブランド交響楽団で14年間フルーティストとして活躍した経歴の持ち主です。多才な方であったようです。

財団は、教育的プログラム、人道的プログラム等々で、大きく貢献してきましたが、アーチ・クランプ

CONTENTS

ガバナーメッセージ	1
地区大会出席への御礼	2
地区大会を顧みて	3
目で見える地区大会	4
ガバナー公式訪問だより	6
米山記念奨学会北関東学友会栃木総会研修旅行報告	10
第35回RYLAセミナー報告	11
青少年交換 1年交換学生受け入れ報告	12
がんばろう日本 がんばろう東北(1)	13
秋の交通安全運動に参加協力	13
ガバナー・ノミニー確定宣言	14
新入会員紹介	14
9月会員増強・出席報告、文庫通信	15
がんばろう日本 がんばろう東北(2)	16

NEWS

ロータリーレート／1ドル=78円

・ガバナー公式訪問

11月1日(火) 岩舟RC
11月2日(水) 栃木RC
11月8日(火) 宇都宮RC
11月9日(水) 宇都宮南RC
11月10日(木) 宇都宮北RC
11月15日(火) 宇都宮東
11月16日(水) 宇都宮陽東・宇都宮陽南・宇都宮陽北RC

・主要行事

11月20日(日) 次期クラブ会長とガバナーエレクトとの懇談会
12月4日(日) 第2回諮問委員会
第2回地区運営委員会
12月10日(土) 宇都宮西RC創立50周年記念式典

は『金銭のみではたいしたことはできない。また、ロータリアンの奉仕活動は資金がなければ、無力に等しい。資金と人が組み合わさった時、神の祝福を得る』と述べています。

2001年度規定審議会で、標語『Every Rotarian, Every Year』（毎年あなたも100ドルを）を掲げたことはご存じの通りです。2004年度規定審議会では100ドルと明記しないことになりましたが（100ドルが1カ月分の給与の国もあり）、日本では敢えて100ドルを入れ、目標を明確にしました。

ロータリー財団の100周年に備え、財団は今、大

きく舵を切ろうとしております。1998年に、9名のFuture Vision Plan（未来の夢計画）委員を任命し、青写真をつくり、現在日本でも、6パイロット地区で試験運営中です。ロータリアンの意見を汲み上げ、地域の裁量を重視し、また、運用の簡素化を目指すというのが、その主な内容です。現在2013年度からの実施にむけて仕上げと準備の段階です。

時代の経過とともに変わっていくクラブあるいは地区のまた、世界のニーズにロータリーは常に対応し、これからも全世界から必要とされる存在として、ロータリー財団の成長はとどまるところを知りません。

地区大会出席への御礼



地区大会での比企達男ガバナーのあいさつ

おかげさまで近藤雅臣RI会長代理より、お褒めのお言葉をいただき、少ない会員数にもかかわらず、充実した内容で、出席会員数が大変多く、しかもほとんどの方が最後まで残られ、大成功であったとお励ましをいただきました。

今年度はまだ3分の2が残っておりますが、各クラブのますますのご活躍をご祈念申し上げ、御礼の言葉とさせていただきます。

第2550地区ガバナー 比企達男（宇都宮陽東RC）



会場入口で東日本大震災の募金を呼びかける米山記念奨学生学友会



ご来賓の方々とともに

地区大会を顧みて

第2550地区・地区大会実行委員長 安藤 寛樹



開会の言葉を述べる安藤寛樹地区大会実行委員長

2011－12年度の国際ロータリー第2550地区・地区大会が、RI会長代理近藤雅臣様、令夫人をお迎えし、地区内外より大勢のロータリアン・ご家族のご参加のもと、盛大に開催できたこと心より感謝申し上げます。

1日目の会長・幹事・地区指導者育成セミナーでは近藤代理よりリーダーの心についてお話をいただき、国際ロータリー2520地区よりパストガバナーでありコーディネーターでもある桑原茂様に「東日本大震災を経験して」の講演をいただき、実体験の話に大変感銘しました。

また、本会議では来賓として栃木県知事福田富一様・宇都宮市長佐藤栄一様をお招きし、台湾から米山学友の徐重任様にお越しいただき、学友であった時の思い出話を

織り交ぜて講演をいただきました。また記念講演ではC.W.ニコルさんに「人と自然の共生」の演題で、森がいかに環境にそして人間に必要であるかの講演をいただきました。

今回の地区大会は環境・米山記念奨学生・東日本大震災の3つのテーマで計画しました。各テーマごとに講師の方々に講演いただき、大変勉強になり心に響きました、ロータリアンとして何ができるのか、何を行うのかを考えさせられた大会であったと思います。

今大会を振り返りロータリーの奉仕精神に立ち戻り、今年度RI会長のテーマ「こころの中を見つめよう、博愛を広げるために」を実践したいと思います

終わりに、今大会にご協力とご支援に対しまして心より感謝申し上げます。



次期開催ホスト、宇都宮北ロータリークラブ亀和田辰男地区大会実行委員長のあいさつ

目・で・見・る 地・区・大・会

地区大会 第1日 10月15日(土)

地区大会 第2日 10月16日(日)



大勢のロータリアンが受付を行った



拍手の中、入場する近藤雅臣RI会長 あいさつする近藤RI会長代理



あいさつする比企達男ガバナー



「東日本大震災を経験して」と題して講演する桑原茂国際ロータリー・コーディネーター、RI研修リーダー



桑原氏の講演に聴き入る参加者



生々しい被災経験を語る桑原氏

会長・幹事・地区指導者育成セミナー

RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会



歓迎晩餐会であいさつする近藤RI会長代理



歓迎晩餐会に花を添えた演奏会



乾杯の発声を行う板橋敏雄RI元理事



和やかな晩餐会の様子



加藤恒男大会顧問による閉会のあいさつ



参加者全員で「手に手つないで」



比企ガバナー、近藤RI会長代理を中心に



多数のロータリアンが参加した地区大会



安藤寛樹地区大会実行委員長による開会の言葉



歓迎の言葉を述べる郡司忠幸ホストクラブ会長(宇都宮陽東RC)



お祝いの言葉を述べる福田富一栃木県知事



談笑の輪が広がった野外での昼食会



お祝いの言葉を述べる佐藤栄一宇都宮市長



地区大会であいさつする近藤RI会長代理



「人と自然との共生」と題してC.W.ニコル氏の講演が行われた



米山奨学生としての体験を披露する徐重仁氏



参加者全員で「手に手つないで」



閉会の言葉を述べる岩村隆之地区幹事

ガバナー公式訪問だより



佐野東ロータリー・クラブ

日時：2011年9月7日(水)
会場：大津栄

9月7日(水)、大津栄において、比企ガバナー公式訪問が開催されました。午前中の懇談会では最初から和やかな雰囲気のまま、少数精鋭の佐野東クラブのPRが十分にできたと感じています。余談ながら、小林会長の青いバラ作りの話やマサイ族の話で、大いに盛り上がりま

した。

例会では、ガバナーの卓話に感銘を受けた会員から感謝の言葉が聞かれ、クラブ協議会では、常任委員会の委員長からの発表と質疑応答があり、出席した全員がロータリーへの理解を深めることができました。ガバナーにも、佐野東クラブの歴史と伝統を感じていただけたと思いますし、小林会長の年度テーマである「ロータリーの哲学を身につけよう」への熱意も感じていただけたと思います。比企ガバナーのますますのご活躍、佐野東クラブのご発展を祈念して、公式訪問の報告いたします。



会長：小林伸司 幹事：村野幸寿



田沼ロータリー・クラブ

日時：2011年9月8日(木)
会場：あそ商工会館ホール

9月8日(木)、道の駅どまんなかホールの耐震工事のため、あそ商工会館ホールに例会場を変更して、2011～2012年度のガバナー公式訪問がありました。

比企達男ガバナー、芝口久雄ガバナー補佐をお迎えし、懇談会は和やかな雰囲気の中で進められました。山崎会長より岩手県山田町への震災援助の件、会員健康維持に対する当クラブの取り組みについての話があり、ガバナーからはお褒めの言葉を頂戴しました。

例会に入り、ガバナー講話をいただき、ロータリーの歴史とポールハリスからの哲学、国際ロータリーのカルヤン・バネルジー会長の考え、メッセージの解説など、会員全員とても勉強になりました。例会後クラブ協議会が開催され、各委員長より報告と質問が活発に行われました。とても充実した公式訪問でした。



会長：山崎悦夫 幹事：松本常治



烏山ロータリー・クラブ
氏家ロータリー・クラブ
矢板ロータリー・クラブ
馬頭小川ロータリー・クラブ
高根沢ロータリー・クラブ

日時：2011年9月15日(木)
会場：ホテル清水荘

9月15日(木)、比企ガバナー、岩村地区幹事をお迎えして、第2グループ合同のガバナー公式訪問が、ホストクラブの氏家にて行われました。5クラブ合同という初めての試みでした。会長幹事懇談会は阿部ガバナー補佐の司会進行で、各クラブに配分された時間内で現況の発表とガバナーの講評をいただきました。

例会に入り、新入会員の紹介で当日氏家クラブに入会した手塚会員に、ガバナーより直接バッジを付けていただき、本人は大変感動していました。

ガバナーの卓話ではRI会長のテーマやシンボルマークについて、詳細にかつ分かりやすく解説していただきました。

クラブ協議会は各クラブの代表者が活動の特徴や重点事項を発表し、ガバナーのご指導と事前の質問要望についてご回答をいただきました。分刻みの進行でガバナーには休む暇もなく大変申し訳なく思いますが、大勢の会員が出席し、活気ある充実した1日でした。



烏山ロータリー・クラブ/会長：横山通有 幹事：渡辺大明 氏家ロータリー・クラブ/会長：渡辺信夫 幹事：小野好史
矢板ロータリー・クラブ/会長：菅野進一 幹事：福田利一 馬頭小川ロータリー・クラブ/会長：田島良久 幹事：大川欽也
高根沢ロータリー・クラブ/会長：古口輝夫 幹事：鶴見博



栗野西方ロータリー・クラブ 鹿沼中央ロータリー・クラブ

日時：2011年9月13日(火)
会場：(株)八百半フードセンター本社3F



残暑の中、お出迎えいただき、早々に両クラブ役員との懇談会に入りました。ガバナーより現況報告書の取り扱い注意や、本年度、米山記念奨学会に力を入れたいなどの説明があり、学友の例会卓話を希望されました。また、原発事故に伴う県内被害についてロータリーとしての奉仕活動の意見交換、少人数でのクラブ活動報告をいただき、活発な意見交換の懇談会でした。

合同公式訪問例会に移動し、ガバナー卓話によるR I方針、地区方針の説明、地区大会の趣旨説明をいただきました。炉辺会議は、両クラブから活動報告をいただき、心を一つに、まとまりの良いクラブ活動と、フットワークの良さを生かした奉仕活動に感銘しました。結びに、ガバナーより合同公式訪問で、お互いのクラブ、会員を知ることができたのではと講評いただき、和やかなうちに閉会となりました。

栗野西方ロータリー・クラブ／会長：齋藤 正 幹事：横川 恵 鹿沼中央ロータリー・クラブ／会長：植野雅之 幹事：齋藤照男



黒磯ロータリー・クラブ 那須ロータリー・クラブ

日時：2011年9月22日(木)
会場：割烹 石山

那須に別荘をもつガバナーは、黒磯RC、那須RCの会員に親しくおつきあいのある方があり、和やかなうちに会長幹事会が開かれました。

合同例会・合同公式訪問は初めに檜山会長、笠原会長のあいさつと高木幹事、金澤幹事の報告などがあり、その後、比企ガバナーの卓話をいただき、ご自身と自然豊かな那須との関係やRI目標などについて説明がありました。ガバナー補佐が2週間前に行ったクラブ協議会の報告に基づき、10項目の地区目標や「未来の夢計画」について解説をいただき、理解を深めることができました。集合記念撮影の後、ガバナー補佐の司会で炉辺会議形式の話し合いが開かれ、親睦活動、新世代奉仕活動、震災支援などについて約1時間のミーティングを行い、終了しました。



黒磯ロータリー・クラブ／会長：檜山達郎 幹事：高木 茂 那須ロータリー・クラブ／会長：笠原智江 幹事：金澤清一



会長：奥澤松利 幹事：関口文雄

葛生ロータリー・クラブ

日時：2011年9月27日(火)
会場：葛生あくとプラザ

9月27日(火)、葛生あくとプラザにおいて、比企ガバナー、芝口ガバナー補佐をお迎えしてのガバナー公式訪問が行われました。懇談会では、和やかな雰囲気の中、会話が進み多岐にわたりご指導いただくことができました。その後、米山奨学生操羽君、青藍泰斗高校インター

アクトクラブ三上祐正会長、池田亮太幹事を迎えて例会に入り、比企ガバナーの卓話をいただきました。クラブ協議会では、各常任委員長から活動方針、実績報告がされ、比企ガバナーより第9グループの模範的クラブであるとの講評をいただくことができました。これからも、葛生RCの歴史と先人の活躍に誇りを持ち、今年のテーマ「原点回帰、学びの心、奉仕の心」を基軸として活動してまいります。

最後に比企達男ガバナーのますますのご活躍をご祈念申し上げます。ありがとうございました。



日光ロータリー・クラブ、今市ロータリー・クラブ、今市きぬロータリー・クラブ

日時：2011年9月29日(木)
会場：あさの

3クラブが、一堂に会しての公式訪問は久しぶりのことです。主管の今市クラブには大変お世話になりました。懇談会も各クラブ役員様と合同で行われ、会員増強、維持や会員平均年齢が

年々上がることが話題となりました。平均寿命が延び、65歳以上の人が64%のお金を持っているなどガバナーからお話があり、また、若い人の入会には根気のあるアプローチと大胆な発想が必要など話は尽きず、和やかなうちに終了しました。公式訪問例会では、ガバナー卓話で、RIテーマの伝達、RI財団、米山記念奨学会、間近になった地区大会のテーマなど卓話をいただきました。休憩を挟んでの炉辺会議では、3クラブよりいただいた質問に、ガバナーより丁寧な回答をいただき感謝いたします。第7グループは公式訪問結びとなりますが、3クラブの今年度のますますの活躍を祈念します。

日光ロータリー・クラブ／会長：岸野 稔 幹事：大久保義美 今市ロータリー・クラブ／会長：宮本二郎 幹事：細井達也 今市きぬロータリー・クラブ／会長：田邊一丸 幹事：大門金一郎



瀬戸合峡の深い渓谷に思わず息をのむ

「ロータリー米山記念奨学会北関東学友会栃木」の総会研修旅行が、10月9日から10日にかけ開催されました。

総会において、会の名称が長すぎるとの意見があり、協議の結果、正式名称は、最後の栃木支部の支部を除き、「……栃木」とし、会則付則に、略称として「栃木米山学友会」を加え、普段はその名称を使用することとなりました。

去年は静岡県のみ山梅吉記念館を見学、墓参をしてまいりましたが、今年は、地元の栃木の自然を満喫し、日光の歴史を勉強しようということになり、日光、鬼怒川・川治・川俣方面への旅行となりました。学友7名、奨学生10名、ロータリアン4名、家族、友人等総勢31名の参加でした。仙台から参加の学友もおられました。半数以上の方が、日光方面は初めてとのこと。竜頭の滝の紅葉が見ごろとのテレビのニュースがあったらしく、いろは坂は大渋滞で、予定の行程の一部はカットせざるをえなくなり残念

なところもありました。華厳の滝は台風や大雨の後で水量が多く、雄大さを堪能できました。

東照宮は山のような人々で迷子になりそうでしたが、専門ガイドさんの説明を聞きながらの見学でしたので、今まで見過ごしていたところもじっくり見ることができました。

総会は夜、川治温泉の旅館で開催され、初めに記したことなどを決定しました。懇親会も盛り上がり、初めて会う会員も多かったのですが、次第に打ち解けた雰囲気となりました。



龍王峡の自然の美を満喫する参加者

2日目は川俣、鬼怒川方面の観光です。大型バスで、細い曲がりくねった山間の道路を通り、私も初めての、川俣ダムへ行きました。瀬戸合峡の渡らっしゃい吊橋へ約200段の階段を下り、また昇り到着すると、そこから見下ろす渓谷は、思わず息をのみこむほどの深い絶景です。紅葉はまだこれからですが、切り立った岩肌と岩の間から力強く生える木々、深い緑の中に一部ところどころ表面が紅葉し始めており、これは素晴らしいものでした。

次に訪れた龍王峡も、鬼怒川の渓谷で、川、滝、岩、山々の木々のバランスが素晴らしいところです。靴を脱いで冷たい清流に足をつけながら景色を楽しむ者もありました。



華厳の滝をバックに参加者全員で記念撮影



日光東照宮では歴史の奥深さに触れる

最後は東武ワールドスクウェアですが、学友の祖国の建造物などを、時間をかけてじっくりと見学していました。

全員元気に予定通り宇都宮に到着し、再会を願って解散となりました。

大分たくさん歩いた旅行で、翌日は脚がパンパンで痛くなってしまいましたが、大勢の学友から、大変勉強にもなったし、素晴らしい景色を見られて良い思い出になりましたと、メールをいただきました。



東武ワールドスクウェアでは祖国の建造物に見入る学友の姿も

第35回RYLAセミナー報告

RYLA委員会委員長 長谷川 孝 (栃木南RC)

■インターナショナルコミュニケーション ～みんな世界と手をつなごう～

平成23年10月8日から10日まで2泊3日で鹿沼市のニューサンピア栃木において、第35回RYLAセミナーを開催いたしました。開講式に比企ガバナーをはじめ多くのロータリアンと17名の受講生を迎えて、始まりました。

メインインストラクターは国際RYLAカウンセラーの藤田雅美様、インストラクターを昨年のRYLAセミナー修了生の大森賢志様と馬場大輔様につとめていただきました。

プログラムは初対面の方がすぐに打ち解けられるアイキャッチゲームや人間知恵の輪を行って緊張を解きました。ペーパータワーでは紙だけを使ってより高い塔をチーム対抗で競いました。次のセッションでは「海の武士道」のビデオを観てディスカッションをしました。そして夜のセッションでは世界のあいさつをチームごとに劇にまとめ発表しました。



比企ガバナーを迎えて行われたRYLAセミナーの開講式

2日目はクラッシュ・オン・ザ・ムーンのゲームと目隠し迷路を行い、夜の友情の集いでチーム対抗の応援合戦を行いました。そして今回は応援合戦のあとにインストラクターへ感謝の劇をプレゼントしてくれました。

RYLAセミナーを通して若者が「心の畑を耕して、奉仕の種を育てる」きっかけになったことと思います。最後にご協力をいただいたインストラクターの皆様、RYLA委員会の皆様そして推薦RCに心からお礼と感謝を申し上げます。



紙だけを使ってより高い塔作りを競った「ペーパータワー」



「人間知恵の輪」を行って緊張をほぐす

青少年交換 1年交換学生受け入れ報告

青少年交換委員長 白相 淑久 (馬頭小川RC)

1年交換学生プログラムにつきましては、地区内各クラブの皆様にご協力をいただき感謝申し上げます。比企年度は、3月11日予想外の東日本大震災並びに東京電力福島第一原発事故の影響により、残念ながら当地区内での受け入れを断念することになりました。この件の経緯につきましては、詳細をガバナー月信にてお知らせしたところでございます。

10月15日～16日の地区大会におきまして、本来は当地区にてホストされるべき学生を皆様にご紹介させていただきました。現在、台湾マルチ地区（第3490地区）のFu-Mien TSAIさんは第2660地区の大阪で、フランスマルチ地区（第1680地区）のArthur WEYNA 君は第2730地区の鹿児島、そしてアメリカフロリダ地区（第6990地区）のRebecca Ashley VILANさんは第2770地区の埼玉にてホストいただいております。今回はこれら3人のほかに、埼玉にホストいただいているアメリカセントラル地区（第6330地区）のAnthony Owen Ambrogio君もゲストとして参加いただきました。

これらの学生諸君には、10月15日に当地区の顔の1つである世界遺産「二社一寺」をROTEXの皆さんと訪ねていただき、当地区での



地区大会に参加した1年交換学生。本来であれば当地区でホストするはずだった



第2550地区1年交換帰国学生も元気に報告

印象を深めていただきました。また、16日には1年交換帰国学生の報告会にも参加いただき、当地区ROTEXやインターアクトクラブメンバーとも交流され、当地区との絆も少なからず深めていただきました。

皆様には、今後とも青少年交換プログラムにつきましてご理解、ご協力くださいますようお願い申し上げます。変則的なご報告となりましたが、1年交換学生の受け入れ報告を申し上げます。



当地区の代わりにホストいただいている第2730地区の鹿児島の関係者と比企ガバナー（右から2人目）、白相青年交換委員長（右端）

がんばろう日本 ● がんばろう東北 (1)

継続的に被災地を支援

宇都宮東ロータリー・クラブ ● 太城 敏之

宇都宮東RCは、2010-11年度会長の太城敏之会員と、大船渡西RCの新沼哲会員が以前よりの知己で、太城会員は大船渡西RCの例会にメーキャップ出席したなどの経緯、親交があり、大震災後継続的に支援に取り組んでいます。これまでの支援活動は以下の通りです。

①3月28日(月)～30日(水)太城敏之会長ほか会員2名で訪ねるも相手方の行方が分からず、面会できずに帰る。

②4月7日(木)大城敏之会長ほか会員5名で訪ねる。大船渡西RCの新沼福三会長、前野良夫幹事、濱守豊秋パスト会長、新沼哲会員と面会できる。大船渡RCの金昌治会長も同席。大船渡西RCは、RC例会場(株ウエディングパレスまるしち)も例会用品もすべて流失してしまったので、点鐘用の鐘とハンマーや、Rマーク付きの演台がほしいとの要望を受ける。また、大船渡RCは例会場の大船渡プラザホテルの内部はほとんど流失したが、点鐘用の鐘だけ見つかったので、ハンマーと、Rマーク付きの演台がほしいとの要望を受ける。

③5月28日(土)太城敏之会長ほか会員3名で訪問(ガバナー月信9月号「顔晴れ大船渡」参照)。

④8月20日(土)～21(日)太城敏之直前会長ほか会員2名で訪問。大船渡西RCの金野孝幹事と濱守豊秋パスト会長と面談。5月28日の支援金と支援物品に対するお礼の言葉を受ける。先方より、3月11日(金)の大震災の津波襲来時の生々しい状況を撮影したDVDをいただく。さらに今後のお願いとして、流失したグループホーム(共同生活援助事業)仮設の再建計画に資金面で協力してほしいとの要望を受けたので9月以降の理事会で協議している。



大船渡西RCにRマーク付の演台を贈る。左が太城パスト会長

秋の交通安全運動に参加協力

高根沢ロータリー・クラブ会長 古口 輝夫

高根沢RCは今年度の事業の一環として、秋の交通安全運動に合わせ、交通安全を呼びかける看板を設置しました。町民などから「ロータリー・クラブの活動内容がよく分からない」との声を聞くことが多いため、目に見える、活動が何かできないかと8月のクラブ協議会に諮って事業化したものです。

看板の設置場所は、元気あっぶむらに行く途中の道沿いにあります。温泉施設を利用するお客様など交通量が多いところです。看板に書かれている「守ってね、ぼくらの未来と交通ルール」の文言は、町内の子どもたちから募集した交通安全標語の中から選ばれました。

安全安心な町づくり、交通事故ゼロを目指して設置しましたので、特に高齢者、子どもの交通事故防止に役立てていただければありがたいと思います。交通安全の看板設置には来年度以降も取り組んでいきたいと思っています。



高根沢町内に設置された交通安全を呼びかける看板。元気あっぶむらに行く町道沿いにある

ガバナー・ノミニー確定宣言

2013-14年度ガバナー・ノミニー候補者の推薦期間を、2010-11年度ガバナー月信第5号で公示しましたが、2010年12月末日の締め切りまでに候補者の推薦はありませんでした。2011年10月6日、地区ガバナー指名委員会は、RI細則13条20節に基づき、宇都宮90ロータリー・クラブ会員飯村愼一君を2013-14年度のガバナー・ノミニーに指名いたしました。よって、飯村愼一君を「2013-14年度 国際ロータリー第2550地区ガバナー・ノミニー」として正式に確定いたしましたことをここに宣言いたします。



飯村 愼一 (いいむら しんいち) 略歴

◆経歴

所属クラブ 宇都宮90ロータリー・クラブ
生年月日 1947年7月5日
現住所 〒320-0856
宇都宮市砥上町1126-8
電話番号 028-648-1438 (自宅)
028-652-6000 (勤務先)
FAX 028-649-1080
夫人名 聡子

◆学歴

1974年 米国テキサス大学 工学部土木工学科卒業
1977年 同上 理学部コンピュータサイエンス科卒業
2009年 早稲田大学大学院 ビジネススクールMBA卒業

◆職歴

1983年 日立ソフトウェアエンジニアリング(株)退社
1983年 光陽電気工事(株)入社
1991年 同上 取締役副社長
1995年 同上 代表取締役社長

◆社交／市民団体歴

2009年～ (社)栃木県経済同友会副代表幹事
2009年～ (一社)経済同友会幹事
2006年～ 国立大学法人宇都宮大学 経営協議会委員
2010年～ 国立大学法人宇都宮大学 学長選考会議議長
2007年～ 宇都宮商工会議所 常議員

◆職業関連団体歴

2007年～ (社)栃木県設備業協会会長
2005年～ (一社)日本電設工業協会理事
2007年～ 栃木県建設産業団体連合会副会長
2007年～ 建設業労働災害防止協会栃木県支部副支部長

◆ロータリー歴

1990年-1991年 宇都宮90ロータリー・クラブ 入会、幹事
1999年-2000年 宇都宮90ロータリー・クラブ 会長
2005年-2006年 RI第2550地区 世界社会奉仕委員会委員
2006年-2007年 同上 世界社会奉仕委員会委員
2007年-2008年 同上 国際奉仕委員会委員長
同上 世界社会奉仕委員会委員長
2008年-2009年 同上 国際奉仕委員会委員長
同上 世界社会奉仕委員会委員長
2009年-2010年 同上 第3グループAガバナー補佐

「台風12号義援金へのご協力」のお礼とご報告

この度は、台風12号義援金にご協力いただきありがとうございました。

地区内30クラブよりお送りいただき、合計1,010,035円が集まりました。

被害に遭われました2640地区(和歌山)指定の口座へ10月11日 送金しましたことをご報告いたします。
各クラブの皆様の温かいご協力に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

ガバナー 比企 達男 / 地区会計長 増山 誠

第2550地区 新入会員紹介



かんどう よしのり
観堂 義憲
(宇都宮RC)

(株)下野新聞社
代表取締役社長
H23.8.25入会

毎日新聞から通算して記者
41年。今夏から下野。男
体山登山目指して訓練中。



いそむら ひろし
磯村 博
(足利RC)

(有)松石
代表取締役
H23.8.26入会

諸先輩を見習いがんばり
たいと思っています。よ
ろしく願っています。



うすね たかし
薄根 孝
(真岡西RC)

栃木ホワイトスト(株)
取締役
H23.9.1入会

メンバーとして活動でき
るようがんばりますので
よろしく願います。



てづか しんいち
手塚 愼一
(氏家RC)

(有)塚田屋商店
代表取締役
H23.9.15入会

ガバナーから直接バッジ
をつけて頂き光栄です。
ありがとうございます。



つゆぐち たいすけ
露口 泰介
(宇都宮RC)

東京海上日動火災保険(株)
栃木支店長
H23.9.20入会

「元気度NO.1栃木県」の
発展のため、精一杯尽
力いたします。頑張ります。



しばくら けんじ
柴倉 今朝吉
(大田原RC)

三井生命大田原営業部
営業部長
H23.10.1入会

大田原は大変住み良い
街。ロータリーを通じて
らに住み良くなりたいです。

国際ロータリー第2550地区 9月会員増強・出席報告

分区	クラブ名	例会数	9月出席率		会 員 数							分区	クラブ名	例会数	9月出席率		会 員 数							内女性 会員
			今月	平均	7月 1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減				今月	平均	7月 1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	
第1グループ	大田原	5	93.02	90.91	34	34	0	0	0	0	0	2	小山	4	96.80	96.61	38	38	0	0	0	0	0	0
	黒磯	4	100.00	100.00	43	45	0	0	2	0	2	2	小山南	4	98.50	97.17	19	19	0	0	0	0	0	2
	西那須野	4	90.45	90.90	39	39	0	0	0	0	0	0	小山東	4	93.18	92.05	33	33	0	0	0	0	0	0
	黒羽	4	93.75	94.58	16	16	0	0	0	0	0	1	小山北	4	70.66	79.37	23	23	0	0	0	0	0	0
	那須	5	62.34	73.10	12	12	0	0	0	0	0	1	小山中央	3	80.30	74.35	22	22	0	0	0	0	0	1
	塩原	4	72.22	71.29	9	9	0	0	0	0	0	0	栃木	4	89.60	82.40	34	35	0	0	1	0	1	0
第2グループ	大田原中央	4	76.00	80.67	27	27	0	0	0	0	0	2	栃木西	4	82.97	83.04	33	32	0	0	0	1	-1	0
	烏山	4	93.74	94.99	12	12	0	0	0	0	0	1	壬生	4	75.36	71.15	19	19	0	0	0	0	0	2
	氏家	5	89.37	89.26	23	25	1	0	2	0	2	0	栃木南	4	89.10	86.37	30	30	0	0	0	0	0	5
	矢板	4	66.70	63.37	28	28	0	0	0	0	0	4	日光	4	75.14	73.44	24	24	0	0	0	0	0	5
	馬頭小川	4	82.14	82.95	21	21	0	0	0	0	0	0	鹿沼	5	73.44	76.17	62	64	0	0	2	0	2	1
	高根沢	4	73.60	73.60	18	18	0	0	0	0	0	0	今市	4	90.85	90.85	41	41	0	0	0	0	0	0
第3グループA	宇都宮	4	76.70	74.90	87	93	2	2	10	4	6	0	鹿沼東	4	93.93	93.77	43	43	0	0	0	0	0	2
	宇都宮西	5	84.72	87.50	68	68	0	1	1	1	0	0	粟野西方	4	92.25	91.98	13	13	0	0	0	0	0	1
	宇都宮北	5	77.06	77.03	45	45	0	0	0	0	0	0	鹿沼中央	4	80.16	82.64	27	28	0	0	1	0	1	2
	宇都宮90	3	82.77	84.55	40	41	0	0	1	0	1	5	今市きぬ	4	93.52	91.05	27	27	0	0	1	1	0	0
第3グループB	宇都宮陽北	4	72.51	81.65	29	30	0	0	1	0	1	3	足利	4	70.33	70.22	36	37	0	0	1	0	1	0
	宇都宮東	4	92.23	93.14	92	92	0	0	1	1	0	0	足利東	3	73.05	75.46	58	58	0	0	0	0	0	8
	宇都宮南	4	86.15	86.87	45	45	0	0	0	0	0	0	足利西	4	88.45	80.76	13	13	0	0	0	0	0	0
	宇都宮陽東	3	82.30	77.43	42	43	0	0	1	0	1	0	足利わたらせ	4	99.17	97.74	28	31	1	0	3	0	3	0
第4グループ	宇都宮陽南	4	93.75	91.87	17	16	0	0	0	1	-1	2	佐野	3	91.00	90.73	60	63	0	0	3	0	3	0
	真岡	5	91.38	88.32	51	52	1	0	1	0	1	0	葛生	4	91.70	91.93	32	33	0	0	1	0	1	0
	益子	4	89.20	91.13	29	29	0	0	0	0	0	0	田沼	5	91.96	91.12	36	36	0	0	0	0	0	0
	真岡西	4	81.82	85.05	37	37	1	0	1	1	0	5	佐野東	4	88.64	87.88	22	22	0	0	0	0	0	0
	しもつけ	4	92.19	92.09	33	33	0	0	0	0	0	9	岩舟	4	60.00	67.80	21	21	0	0	0	0	0	1
			84.52	84.66	1691	1715	6	3	34	10	24	67												

〈幹事変更のお知らせ〉

都合により、10月6日(木)から那須ロータリー・クラブの幹事が交代になります。

旧幹事 金澤 清一 → 新幹事 佐藤 元典

文・庫・通・信 (289号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の1つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧はもちろん、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご利用願います。右資料のご紹介をいたします。

●地区大会記念講演より

申込先：ロータリー文庫(コピー / PDF)

『有田の伝統を語る(対談)』	14代酒井田柿右衛門	2011 / 7p (D.2740)
『夢を創る』	安藤 忠雄	2011 / 4p (D.2580)
『一隅を照らす』	半田孝淳天台座主	2011 / 6p (D.2600)
『遺言書を書いて千日回峰行』	上原行照師大阿闍梨	2011 / 5p (D.2600)
『いくつもの壁にぶつかりながら 「19歳・児童売春撲滅への挑戦」』	村田早耶香	2011 / 4p (D.2780)
『日本のこれから、日本人のこれから』	藤原 正彦	2011 / 16p (D.2530)
『アジア大交流時代の幕開けと日本人』	浜田 和幸	2011 / 7p (D.2560)
『ソフトパワー大国を目指して～山形からの可能性』	結城 章夫	2011 / 7p (D.2800)
『CO2貯留研究の現状と課題』	村井 重夫	2011 / 12p (D.2800)

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL 03-3433-6456 FAX 03-3459-7506 URL <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館時間：午前10時～午後5時 休館日：土・日・祝祭日

各ロータリークラブでお知らせしたい情報がありましたら、事務局まで原稿をお寄せください。

がんばろう日本 ● がんばろう東北(2)

東北地方へ義援物資を運ぶ

黒磯ロータリー・クラブ広報IT委員会委員長 ● 遠藤 清和

黒磯RCは、この大震災の起きた時に50周年の記念式典の実行委員会が忙しく動き回っていました。私は新世代委員長の立場にあり、二十二地区委員長にインターアクトの台湾研修旅行の参加の名簿を送ろうとしていました。余震の続く中、緊急の理事役員会が開かれ、記念式典の延期と研修旅行の中止が決定しました。

積み立てた式典のための予算と研修のための予算は、義援金として地区に送り、釜石RCと連絡を取り、必要な物資のリストを桑原2520地区パストガバナーより送ってもらいました。これらの物資は被災者に速やかな配布をするため、直接運搬することにしました。

クラブの行事の中止、変更、義援物資の調達が完了した時には、4月末の連休が近づいていました。受け入れクラブとなる塩釜RCと日程の調整を行い、5月7日に高木慶一黒磯RC会長を団長として、総勢10名のメンバーと2トントラックに物資を満載して出発しました。私たちの那須地区も震災の影響は大きく、宇都宮クラブからは義援金をいただいている身なのですが、報道を見る限り東北地方は被害が私たちの比ではないのは分かっていました。それでも東北道を北上しながら身をもってそれを知らされました。普段の高速道路のスピードで走っているのは、突然の突き上げが来るので危険なのです。震災から既に1カ月半が過ぎていましたが、路面は所々に凹凸があり、路肩も崩れたままの箇所も多く、カラーコーンが置かれている状況でした。

仙台で東北道を降り、塩釜方面に向かうと景色はさらに一変しました。進行方向の右手は一面瓦礫の山でした。高速道路が堤防の役目をしたようで左手を見る限り平穏な住宅地が広がっていますので、非常に対照的な光景で

した。畑の中にはまだ乗用車が突き刺さったままです。しばらくして塩釜の町に入りました。初めての町でした



桑原2520地区パストガバナーが経営する(株)キクニで行われた義援物資の荷降ろし作業



義援物資を被災地に届けた黒磯RCのメンバー

が、多分、その時以前来た人たちにも変わった光景には見えなかったと思います。しかしながら、まず大半の交通の信号機が動いていないのに気付きました。道路の路肩に止まっている車にナンバーが付いていないのにも気付きました。反対駐車車もあります。よく見れば随分と車体が凹んだ車もあります。

そんな光景を見ているうちに私たち一行は目的地の(株)キクニに到着しました。ここは桑原PGの経営する会社ですが、震災の影響も少なく済んだので物資の集積場所となっているとのことでした。手分けして義援物資を降ろし、倉庫に保管していただき、地域の方々に役立てていただくことをお願いいたしました。塩釜RCの方々により速やかに分配されることを期待して、私たちの今回のプロジェクトは終了しました。

塩釜の港に近い地域に行きますと、瓦礫に埋もれた飲食店や壁の壊れた店が多くありました。店の内部にはいまだ泥土が堆積していて、壁には海水が上がってきたことを示すラインがはっきりと見て取れました。営業を始めた店もありましたが、出入り口には津波が襲った時のその店の写真が貼られ、その凄さに驚きを感じるばかりでした。

季節は秋の気配を運び、野田政権も発足しましたが、被災地ではいまだ仮設住宅の当選を待つ人たちもいますし、自分の家に戻れない方もたくさんいます。あの時に実際に目にした校庭に作られた仮埋葬の墓地もいまだそのまま手付かずに残っているのを、テレビのニュースで見ます。企業の海外移転もこれから増えるでしょう。この国はどこへ向かおうとしているのか、危惧の念を感じているのは私だけではないと思います。

※各クラブの東日本大震災支援の取り組みを「ガバナー月信」で紹介します。支援活動を行ったクラブはぜひ情報をお寄せください。12月号の原稿締め切りは11月8日(火)です。その後も寄稿いただければ順次紹介していきます。